

**予告 東京大会**  
 11月13日(土)～11月14日(日)  
 制度加入を果たし、現状を開こう!

# 意識改革を求められる「KHJ家族会」

“新「ひきこもりガイドライン」”を受け入れ制度支援を受けよう!

ガイドラインURL [http://www.ncgmkohndai.go.jp/pdf/jidouseishin/22ncgm\\_hikikomori.pdf](http://www.ncgmkohndai.go.jp/pdf/jidouseishin/22ncgm_hikikomori.pdf)

3年におよぶ国の調査・研究を踏まえ・・・  
 「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」が公示  
 ■「ひきこもり」という「制度の谷間」に公的支援のよって立つ「明確な根拠」が与えられる

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」が5月19日に厚生労働省から公式発表され、6月初めには、各都道府県の精神保健福祉センターなどに冊子版(全170頁)が送付された。全国に徹底されていくことが期待される。

「ひきこもり」はメンタルヘルス(こころの病)の結果として厚生労働省(障害保健福祉部)「精神・障害保健課」の名において公示されたことは注目すべきである。

この公示を受け、6月1日の参議院の厚生労働委員会では、公明党の山本博司議員と長妻昭厚生労働大臣や山井政務官、泉政務官などの

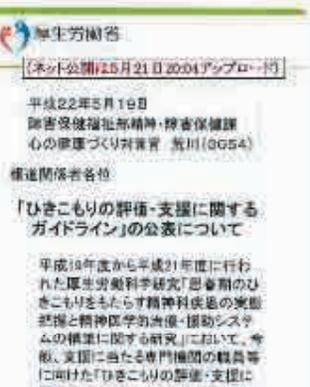
質疑応答があり、効果的な施策が早急にとられるべきことの申し入れがなされた。答弁では新法での「子ども・若者相談センター」や「ひきこもり地域支援センター」の全国設置の運営のあり方やアウトリーチにも触れられた。(KHJのホームページに動画)

◆5月～6月驚くべき早さ  
 で進む医療・福祉の大改革  
 一方、すでに承知のように、日本の障がい者問題を中心としたメンタルヘルス医療や福祉制度の抜本改革をめざす民間団体と内閣

府や厚生労働省との間の複数の協働検討が同時並行的に驚くべき早さで進められている。(次頁で紹介)

このようなメンタルヘルスの(維新とも呼べる)革新的な動きの中で、いわゆる「おとなぐみ」の我々、全国引きこもりKHJ親の会には、その状況理解と的確な対応が求められている。

なお、国立国際医療センターの齊藤先生や山梨県精神保健福祉センターの近藤先生の解説記事が専門雑誌「月間・地域保健」に特集され、分かり易く大変参考になる。



ネット検索で:「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」と打ち込みダウンロード

## 厚生労働省報道発表

## 参議院厚生労働委員会 「子ども・若者育成支援推進法」や新版「ひきこもりガイドライン」への認識を求む



質疑:山本博司参議院議員



答弁:長妻昭厚生労働大臣他、山井和則大臣政務官、泉健太(内閣府)大臣政務官

## 政府も改革⇔家族会も“チェンジ” その課題は

- 1)「ガイドライン」をてこに→“谷間”を埋める制度加入を
- 2)“専門(精神医学)的診断”を受け入れるよう啓発する⇒(一部の“楽観指向(未診→遷延化)問題”への反省と警鐘)
- 3)“長期・重篤”者の支援体制(資源)を明確にする
- 4)広く他の団体とも交流し、共通点を学び、連携する

地域保健 6  
 特集:「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」について  
 \* 齊藤万比古 (国立国際医療研究センター)  
 \* 近藤直司 (山梨県立精神保健福祉センター)  
 書店にはない〜TEL:03-5977-0353(東京法規出版)

# 「全国引きこもりKHJ親の会」が今、認識整理すること

前頁からの続き / 背景の解説

## 熱気の籠った多様な官民協働の動きは目を見張るものがあります

☆「旅立ち」55~56号などで一部情報提供されていますが、国連WHOで採択され、すでに日本も契約した「障害者の権利に関する条約」の批准(国会での決議)のため、日本の「障害者福祉制度のあり方」を抜本的に見直さなければならなくなり、日本の福祉法制はその基本理念からの改革を迫られています←(いわば“外圧”)。新政権の肝入りで、今年4月以降の新行政年度に入ってから“熱

気のこもった官民協働の動き”は目を見張るものがあります。特に、精神保健福祉分野では「こころの健康政策構想会議」(座長・岡崎祐士松沢病院長)の提言書が長妻昭厚生労働大臣に提出され、厚生労働省内に検討チームが発足しています。この提言が採用される可能性は大変に高いと思います。〈英国など先導的な国の政策に範をとる新理念の制度改革です〉

## 〈英国など先導的な国の政策に範をとる新理念の制度改革です〉

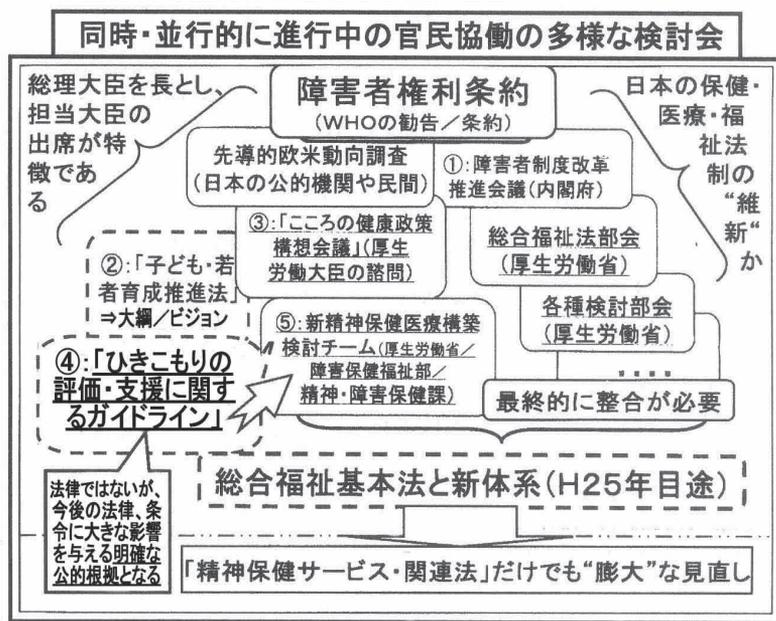
③:「こころの健康政策構想会議」の風景  
(KHJ 西東京代表も参加)



☆右図のように総合的、色々な分野の検討会が“同時・並行的”に進められています。精神医学の保健・医療・福祉分野では①、②、③、④、⑤は互いに重なり、深く関連しています。  
☆重要なことは、すでに「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」

④が、検討チーム⑤の検討資料の一つとされています。その扱い方に心がが必要です。  
☆状態像の背後にある病理と生活機能を評価対象とする施策が法/制度的に取り上げられる方向です。長期・重篤”は障がいの定義に入るか？

★下記これ等全てにひきこもり案件包含へ



☆「全国KHJ親の会」はこの状況を踏まえ、運動や実践活動が必要である

＜最重要な意識改革(内部啓発)＞

「ガイドライン」を受け入れる～法的支援には“状態像→医学的診断”が基礎となる

＜評価(診断)～6軸の視点＞

- 1) 精神障害の有無
- 2) 発達障害の有無
- 3) パーソナリティー傾向
- 4) 「ひきこもり」段階
- 5) 環境要因の評価
- 6) 以上の総合評価

＜病理性の実態 (ICD-10, DSM-IV 準拠)＞

- 第1群: 統合失調症、気分、不安障害、etc.  
...全体の≒1/3、～(薬物/心理療法/生活支援が中心)
- 第2群: 広汎発達障害、精神遅滞、etc.  
...全体の≒1/3、～(心理療法/生活支援が中心)
- 第3群: パーソナリティー障害、適応障害、etc.  
...全体の≒1/3、～(心理/生活支援が中心)



当会の共同主宰ひきこもりサポートナビ(主宰の榊シンクプロジェクト)が主要メディアで紹介され会員が急増中。

URL: www.hikikomori-navi.com

ひきこもりサポートナビ



FAX 048(758)5705

医学博士 中垣内正和  
推薦のことは、精神科医として本書をお薦めします。

## 法制的改革動向は追い風

☆ 国連の「障害者の権利に関する条約」(差別禁止条約)の基本理念により、偏見を低減させる法制度となる⇒「疾患概念から“生き難さ評価”重視」。  
☆ “こころの健康政策(⇒精神的障がいによる生き難さ)”への支援の強化、  
☆ 当事者はもとより、家族への支援の強化、特にアウトリーチの強化⇒当事者支援の家族(会)も支援対象、etc.

NPOメンタルケア協議会第13回シンポ(明治大学アカデミーホール)



厚生労働省「精神・障害保健課」林課長補佐: 800人の聴衆を前に、「ひきこもりガイドライン」を含め、最近の精神保健行政の動向を語る(H22/6月27日)



KHJ西東京「親の会」井手宏会長～800人の聴衆を前に「引きこもりの、データに基づく親の会からみた実態、理解、支援のあり姿を語る(H22/6月27日)

(記事・文責: 調査部会長)

「大検」は「高卒認定」に進化!

ひきこもりでも自宅からウェブ学習で1年以内に高卒資格が取得できます!

高認スーパーゲットコース

第一高等学院 www.daiichikoto.net

ルポ「ひきこもり」

価格800円

FAX 048(758)5705

行き詰まり、混迷を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したという方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。

推薦のことは、精神科医、

医学博士 中垣内正和

# 国の引きこもり施策明確化への方針大転換に

KHJ 各地区会が容認賛同へ (医療や福祉対応への)

奥山本部代表、KHJ 各会内部への啓発巡回行脚を開始  
 埼玉、東東京、千葉、神奈川、栃木、新潟、徳島、香川の各地区会へ



KHJ 徳島「つばめの会」7周年会場



KHJ 香川「オリーブの会」8周年会場

各会場で「新ガイドライン」の認識・啓発を訴える奥山本部代表

5月6月にはKHJ 本部理事会決定を受け、奥山全国代表は上記のKHJ 各地区会の周年行事や月例会に鋭意啓発の為に巡回行脚した。各会場で新ガイドライン(厚労省)や障がい者制度改革推進会議の動画DVDを持参し、自身の

内閣府での同会議の意見、具申の動画を各会場で映写しながら国からの引きこもり対策の明確化への方針大転換(精神疾患や障害)への受入れの賛同を訴えた。各会場では、会員家族へ引きこもりへの医療対応や福祉対応を獲得すべ

**引きこもり当事者向け職種**  
 ・遺跡発掘の作業と  
 ・出土品のパソコン合成写真作成作業

全引きこもりKHJ本部と日本文化財保護協会が提携を協議

同協議会では、遺跡発掘や出土品のパソコン合成写真作成作業に関し、全国1000箇所が発掘現場があり、その内一部を引きこもり当事者の職種として継続している例もあるとのこと。

これを踏まえ、同協議会の役員等から引きこもり当事者向けの職種として提携の打診が入り、去る6月9日にはKHJ本部は同協議会役員と会い協議し前向きに検討することとなった。

黙々とする発掘作業や、出土品のパソコン合成写真作業が一部の当事者には向き、作業単価も比較的高く魅力があるという。

今後は、全国各地区会や当事者からの打診が入り次第、文化庁から委託を受ける同協議会会員会社と詳細を詰めて行く事なる。



「ひきこもり支援相談士スキルアップセミナー」好評裏に開催

去る5月15日(土)ひきこもり支援相談士認定協議会主催の「ひきこもり支援相談士スキルアップセミナー」が東京・五反田にて開催され、全国各地から会場に入りきれないほどの120名以上の相談士が参加し、今後の支援活動の心構えや、支援活動の事例等を研鑽し有意義なセミナーとなった。

今回は大阪、九州、北海道でも開催する予定。

本機関誌は、全会員及び関係国会議員、厚生労働省、文部科学省、地方自治体の担当課、更にマスメディア、専門家やその他の関係者に配布送付されます。

【第8次全国アンケート調査】徳島大学境研究室との各地区代表、役員、会員 各位様 お世話様です。

◆新年度からの「新法施策の実施」や新ガイドライン「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」の公示を受け、今回はその大きな要因である※「発達障害」に関し、引きこもりとの関連の実態調査が今後の問題解決への一助となって行きます。

〈アンケート調査の時期、方法〉

- ・アンケート用紙はご家族用・当事者用2種
- ・アンケート用紙は7月初旬 各地区会へ発送
- ・アンケートは7~8月の月例会等で実施後当方へご返送
- ・9月集計、分析 秋の「東京大会」や各関係機関に発表予定

各地区会の皆さまにはご協力の程宜しくお願い申し上げます。

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授 境 泉洋  
 NPO 法人 全国引きこもり KHJ 親の会 (家族会連合会) 本部長 奥山 雅久

不登校・ひきこもりの方も安心

ウィザス高校・ウィザスナビ高校の特長

- ◆一人ひとりに合った学習で確実に「高校卒業」
- ◆担任制による、親身でめまやかなサポート
- ◆インターネットの良さを活かして、学習面・メンタル面の不安を解消

ウィザス高等学校  
 WITUS HIGH SCHOOL  
 0120-130-530  
<http://www.witn-us.ed.jp>

ウィザスナビ高等学校  
 WITUS NAVI HIGH SCHOOL  
 0120-780-140  
<http://www.witn-navi.ed.jp>

社会不安障害総合情報サイト

SADとは「Social Anxiety Disorder」の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことで、

## SAD NET

人前で話したり、食べたり、書いたりしようとすると、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

・おおよそのSAD (社会不安障害) をチェック可  
 ・どこへ行けば治療して貰えるの?  
 全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

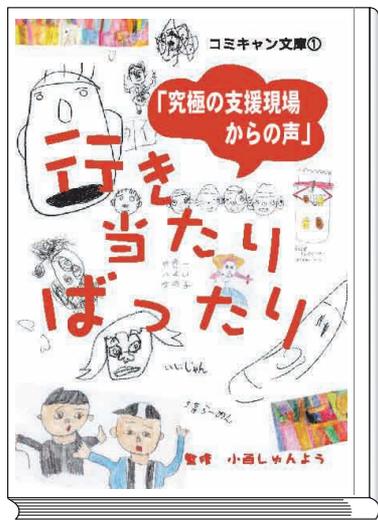
社会不安障害の総合情報サイト  
 URL : <http://www.sad-net.jp/>

(新ガイドライン) 資料

精神保健福祉センターひきこもり相談 来談事例の精神医学的診断

診断結果	比率
発達障害	27%
不安障害	22%
気分障害	14%
パーソナリティ障害	18%
精神病的障害	8%
その他	5%
適応障害	6%

来談事例125ケースから得たDSM-IV第I、II軸診断の総数170個。上記は全診断数中での比率。(近藤直司, 2009)



「究極の支援現場からの声」  
 今こそ、日本と日本必然性に於いて「質その人の意識そのものが変わるもの」が問われていなければならない立ち行かなう。(内閣府「障がい者制度となるトコロまで来て 改革推進会議」など)  
 いる。あらゆる分野で 本来、人間は人々は必然的に変革と大転換「何のために生き、どのがギンギンと始まり出様に生き、どの様に支えられてきている。福祉の合って共に生きてゆく分野でも今、正にそのこと」なのか?

「いきなりばったり」  
 小西しゅんよう  
 全引連KHJ  
 本部分代表  
 理事長 奥山 雅久

本書は、3障害を越えて7箇所の施設、4事業を実施する関西のコミキャンでの生き難さや障害を引き受けながら懸命にヒリヒリ生きている仲間たちが紡ぐ声であり、その集約の実践の書(350頁)である。  
 愚直なまでのその生き様と、それゆえのピュアな命の輝きを我々の「生きるとは何?」の指針や糧にしたいものである。

# お薦め本

ドキュメント「ひきこもり」7月10日発行

「長期化」と「高齢化」の実態  
 発行：宝島社 価格700円(税込)  
 ●当事者、家族が語る「ひきこもり」の現場  
 ●新ガイドラインの  
 説明  
 ●ひきこもりと病理との関わり  
 ●回復支援のための様々な活動

無料  
 引きこもり電話相談  
 ☎03-5319-1430  
 火・木・土 PM1:00~5:00  
 第4土曜・祭日休み  
 KHJ東 東京「楽の会」

## 月例会に参加して気を楽しんだり情報交換しませんか

特定非営利活動法人(内閣府認証)全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)  
 ☆親の会(月例会)問い合わせ先(北海道~沖縄)  
 42支部 6,620家族と15の準地区会で8,170家族

☆各サークルの月例会(月1回)の役割 ○同じ境遇の親同士でのお心ない話し合い、自分達だけが引きこもり(すがり付、とり付)で苦しんでいるのではない、仲間が居るのだという実感、孤独感からの脱却一親の心の癒し一人の言いつけせぬ気持ち(心)に対応できる 良好循環 ○問題に対する情報の交換(施設、専門医、カウンセリング、薬等) ○先輩会員の沢山の例を知る今後の自分達のこの問題に対する対応、心構えをつくってゆく  
 ☆引きこもりKHJ親の会の役割 ○情報の収集と検証(医療施設、専門機関、専門家、各種行政、マスコミ) ○不登校→引きこもり→すがり付→とり付の流れを、早い段階で対応すべく世間に響きをならしてゆく ○他県との同じ趣旨の会を立ち上げたり連携をとってゆくー全国組織化○行政の対応や支援、制度化の対応を求めてゆく⇄(社会問題を起こしたり、本人の生涯に渡る永い状況は一家の対応を越えている)  
 ○抜本的施設、「若者の居場所」グループホーム」の設立と公的助成を

- 全引連 KHJ本部(全国) NPO 法人  
 〒339-0057 さいたま市岩槻区本町1-3-3 らうんじ内 奥山 雅久  
 TEL 048-758-5705
- KHJ埼玉「けやきの会」(埼玉県、群馬県) 携帯080-3176-6674 NPO 法人  
 〒331-0805 さいたま市北区盆裁町190-3 TEL・FAX 048-651-7353 田口ゆりえ
- KHJ東東京「楽の会」(東京都、)  
 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 TEL 03-3918-0655 FAX 03-3918-7873 池田 佳世
- KHJ西東京「萌の会」(東京都、)  
 〒167-0051 東京都杉並区荻窪1-19-4 FAX 03-5397-5372 井手 登 井手 宏
- グループコスモス(東京都等) TEL 03-3490-1688 FAX 03-3490-1806
- 〒141-0032 東京都品川区大崎5-5-3 五反田スカイマンション303 石尾 瑛子
- KHJ東海なでこの会(愛知県、三重県、岐阜県等) NPO 法人  
 〒483-8337 愛知県江南市藤ヶ丘4-1-1 江南団地78-106 FAX 0587-52-4511 伊藤 進
- 名古屋オレンジの会(愛知県、三重県、岐阜県、近隣県) NPO 法人  
 〒453-0015 名古屋市中村区椿町19-7チサンマンション椿町304 TEL・FAX 052-459-5116 鈴木美登里
- KHJ北陸会(石川県、福井県) 例会会場 石川県金沢市県立女性センター  
 〒924-0024 石川県白山市北安田町1381 事務局
- とやま大地の会 TEL 090-3768-1733 FAX 076-429-5886
- 〒939-2455 富山県富山市八尾町大玉生秋「野良里」内 井波 純子
- 京都オレンジの会(京都府、奈良県、等) TEL・FAX 075-752-0189 NPO 法人  
 〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東六丁目分木町74-3(2F) 稲垣 緑
- KHJ「つばさの会大阪」 TEL・FAX 072-844-2423 携帯090-4308-4259 NPO 法人  
 〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町1-3-1 マインドビル4F 大塚 洋
- 「大阪虹の会」 FAX 072-265-7803 NPO 法人  
 〒592-0002 大阪府高石市羽衣4-3-29 原 治子
- 神戸オレンジの会(兵庫県) NPO 法人  
 〒652-0805 兵庫県神戸市兵庫区羽坂通4-2-22 TEL 078-515-8060 松井 勝也
- 情報センターふきのとう姫路(兵庫県) TEL 090-5046-7134 FAX 0792-24-5259
- 〒670-0896 兵庫県姫路市上大野1-11-6 櫛橋 行雄
- KHJ福岡県「橘の会」(福岡、佐賀、長崎) TEL 090-8222-7403
- 〒810-0003 福岡県福岡市中央区春吉1-7-18 タケウチビル2F 092-731-3091 吉村 文恵
- KHJ高知親の会「やいろ鳥」の会 TEL・FAX 0887-55-1255
- 〒781-5205 高知県香美郡野市町みどり野東1-33 竹中あおい
- 岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会(岩手県、等) NPO 法人  
 〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町19-8 TEL 019-605-8632 FAX 605-8633 三宅 均
- KHJみやざき「橘の会」 TEL・FAX 0985(53) 2666 携帯090-9603-8780
- 〒880-0944 宮崎県宮崎市江南4-9-9 植田方 植田美紀子
- KHJ宮城県「夕オ」 TEL 0228-58-4755 FAX 0228-58-4756 NPO 法人  
 〒987-2183 宮城県栗原市高清水柚山62-18 携帯080-3193-6715 武田 和浩
- KHJいがた「秋桜の会」 TEL 090-4017-2889 NPO 法人  
 〒950-0167 新潟県新潟市江南区五月町1-2-9 TEL・FAX 025-382-6912 三膳 克弥
- KHJ熊本県「橘の会」(熊本、佐賀県、長崎県) TEL 096-322-3548 FAX 096-322-3787
- 〒860-0072 熊本県熊本市花園7-2435-12 武井 敬蔵

- KHJ青森県「アップルの会」TEL/FAX 0178-88-5297 事務局長  
 〒039-1212 青森県三戸郡階上町荻前西5-9-1634 サンハウス内 川村 克彦
- KHJ岡山県「きびの会」TEL 086-281-5393 携帯080-1908-3861 NPO 法人  
 〒701-0204 岡山県岡山市南区大福430-24 花谷 幸芳
- KHJ広島県「もじの会」TEL・FAX 082-924-2922(平日090-8060-0054 前川)  
 〒731-5137 広島県広島市佐伯区美の里2-1-39-801 岡本 弘
- KHJ鹿児島県「橘の会」TEL・FAX 0993-38-0320 自宅TEL 0993-38-1421
- 〒891-0704 鹿児島県南九州市姪ヶ浜町別府1243 福留 順一
- KHJ静岡県「いっぶく会」TEL・FAX 054-245-0766
- 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町25-2 中津川舜美
- KHJ香川県「オリーブの会」TEL・FAX 087-843-9877 NPO 法人  
 〒761-0104 香川県高松市高松町2574-9 川井 富枝
- 山形県「から・ころセンター」 TEL/FAX 0238-21-6436 NPO 法人  
 〒992-0026 山形県米沢市東2-8-116 伊藤 正俊
- KHJ福島県「MHPIC」TEL 024-943-1678 FAX 024-943-1686
- 〒963-8813 福島県郡山市芳賀2-21-10 矢吹 孝志
- 「いばらきの会」 FAX 0297-42-7751
- 〒300-2706 茨城県常総市新石下4503-1 朋友2F 菊地 芳明
- KHJ北海道「はまなす」 TEL・FAX 011-631-0981
- 〒064-0824 北海道札幌市中央区北四条西26丁目3-2 田中 敦
- KHJ栃木県「ベリー会」TEL 090-4247-2829 NPO 法人  
 〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町4077 斉藤三枝子
- KHJ神奈川県「虹の会」TEL/FAX 045-823-5464
- 〒244-0814 神奈川県横浜市戸塚区南舞岡4-5-16 鈴木 豊年
- KHJ徳島県「つばめの会」 TEL 090-7620-4625 TEL・FAX 0883-24-0507
- 〒776-0014 徳島県吉野川市鴨島町知恵島372-6 高橋 浩爾
- KHJ千葉県「なの花会」 TEL 090-8491-0971 NPO 法人  
 〒267-0055 千葉県千葉市緑区越智町1701-275 藤江 幹子
- 秋田県「かだれ会」 TEL 0185-72-4133 FAX 0185-72-4134
- 〒018-2303 秋田県山本郡山本町森石字石倉沢1-2 長信田の森心療クリニック(暫定)
- KHJ山口県「きらら会」TEL・FAX 0836-88-2681 NPO 法人(申請前)  
 〒756-0862 山口県山陽小野田市須恵西2471-1 小林 攻
- 滋賀県「グッドハート」TEL 077-561-8759 FAX 077-567-1160 NPO 法人  
 〒525-0034 滋賀県草津市大路1丁目4番大丸ソイビル202号室 加藤 日典子
- 沖縄県家族のつどい TEL 098-888-1443 FAX 098-888-1710
- 〒901-1104 沖縄県南風原町字宮平212-3 沖縄県総合精神福祉センター 相談指導課
- KHJ大分県「大分若者自立支援の会ステップ」 TEL 090-1163-8582 NPO 法人  
 〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上3604-14 松本 太郎
- KHJ愛媛県「こまどりの会」 TEL・FAX 089-964-4558
- 〒791-0216 愛媛県東温市野田2-10-35 渡部 浩二